

# 奥多摩 白髭ボルダー

2016.3.19 rctK

奥多摩の小河内ダム下流周辺のボルダーとしては、昔道ボルダーが、大分前に小林幸男氏によりクライミングジャーナルに発表された。その後台風等により状況が変化したりはしたものの、今も良く登られている。

他のボルダーとしては、多分その当時もトライされていたのであろうが、白髭岩(神社)から多摩川に降りたあたりにも、ある程度まとまった石灰岩のボルダー群がありアプローチがあまり良くないためか、それほど面白味のある課題が無いいためか、未発表のままである。

今回、そのボルダー群を「白髭ボルダー」として簡単に紹介したい。以前登りに行ったときにチョーク跡が見られたので、たぶん他のボルダラーも登っていると思われるので、難しい課題が設定されている可能性がある。なお、谷底のため、トライされていないボルダーは苔が発達して掃除しないと登れない可能性がある。

さらに下流の境橋上流部にもいくつかボルダーがあるが、さほど面白いものはない。

また、近辺のボルダーとして、川沿いではないが、白髭神社近くの、昔道より上に「弘法の成筆」というハイボルダーがあるので、ついでに紹介しておきたい。

近所にお住いの方の話によると、この「弘法の成筆」の下は昔車道だったところで、小河内ダム建設の頃はタクシーが良く通っていたとのこと。よく見ると、昔道の少し上に道路跡があり、この岩から神社の登り口である階段下に少し下るように道が降りていたようだ。

ダム建設の頃は奥多摩周辺は非常に賑やかで景気が良かったとのこと。その当時の頃に思いを馳せながら、少し上にあるトロッコの軌道跡と合わせこの岩を見ると、その様子が蘇るようで感慨深いものがある。

アクセスは車利用が便利。駐車は境橋から都民の森方面に入ってすぐの道路横暫く行った湧水の先に止められるが、釣り師なども停めるので何台ものスペースはない。昔道はスペースはあるが道が狭いため待避所には駐車不可。

アプローチは、上流エリアは昔道側から降りていく。メインエリアは栃寄側の道路の湧水の先に、「落石注意」との看板の立った岩の辺りから降りていくが、あまり道は良くない。

「弘法の成筆」は白髭神社の登り口から反対側に道路の石垣の上を行くと直ぐである。



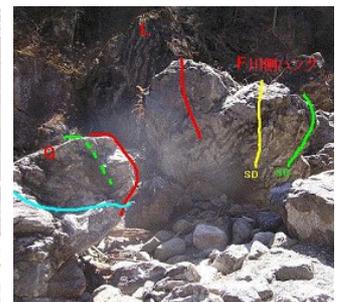
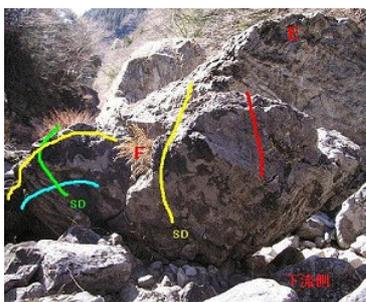
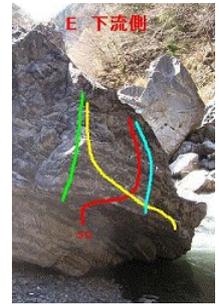
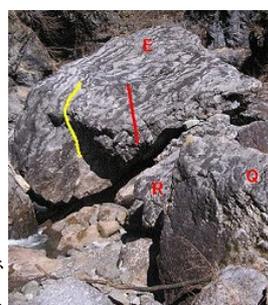
## ●白髭ボルダー E岩、F岩、K岩、L岩のみ紹介する

○E岩 上流側(左) & 下流側大ハングと(中央)川側ハング(右)

E岩はビッグボルダー(周りが川なのでボルダーとしては不適)に次いで大きなボルダーだが、それほど課題が多いというわけではない。大ハングのSD課題は以前チョーク跡が見られたので登られている可能性あり。川側のハングは増水すると取り付けない。

○F岩 下流側(左) & 川側(右)

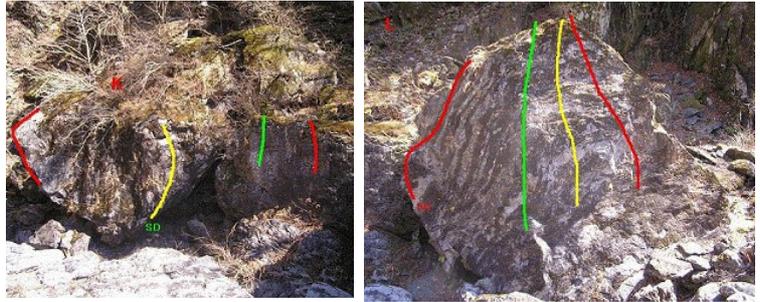
E岩の下流側にあるあまり高さのない岩だが、周りがハングしており、SD、トラヴァースといろいろ楽しめる。



○K岩(左)&L岩(右)

K岩は日陰で苔が付きやすい。

L岩は細かなフェイスの課題。



●弘法の成筆 弘法の成筆(左)&一段上の小さな岩(右)

上記したように、むかし道の上にあるハイボルダー。下地は安定しているが、脆そうな部分もあるので、マットを使用したほうが良いだろう。

この一段上に小さな岩があり、被ったカンテが課題になっている。

その他、この周辺や、さらにトロッコ軌道跡より上部に幾つか小さいながらも石灰岩のボルダーがある。一番上のボルダーは掃除をして登っているが、それ以外は手つかずであり、掃除が必要である。

